「誰ひとり取り残さない、切れ目のない支援の輪」
世界網膜の日　ｉｎ　神奈川

網膜色素変性症を告知されたときに、医療機関や行政を含む支援機関が適切な情報提供をできるか否かで、その患者の今後の運命が決まってしまうと言っても過言ではありません。情報をうまく受け取れなかった患者は情報難民に陥り、本来得られる助成を知らないまま長い間引きこもったり、非常に困難な生活を強いられている事例が多々あることから、「一人でも多く路頭に迷う仲間をなくしていこう！」という思いをテーマに込めました。

開催日　２０２３年９月２３日（土）～２４日（日）　※会場への入場は無料
　※２３日の懇親会を希望する人は申し込みが必要です。
　※２４日のみの参加、YouTube視聴の方は、事前申込みは不要です。
会場　神奈川県民ホール
（神奈川県横浜市中区山下町３－１　ＴＥＬ：０４５－６６２－５９０１）
プログラム
◆１日目：９月２３日（土）（懇親会）１８時～２０時
◆２日目：９月２４日（日）　９時５０分から１６時００分
　ＹｏｕＴｕｂｅ配信予定（１０時３０分～１６時）
　　https://www.youtube.com/watch?v=RcFPwi5gY6s
場所：小ホール
１０時　　受付開始
１０時４０分　パネルディスカッション１
　　「医療・行政・支援者、三位一体の切れ目のない支援の輪」
パネリスト：眼科医・障害福祉担当者・生活訓練担当者・患者会員。
　ＲＰと診断されても障害者手帳（福祉制度）、障害年金につながることができない患者が存在する現状の確認とその課題を共有します。
１１時３０分～１２時１０分　パネルディスカッション２
　　「三位一体の支援の輪はもう始まっている」
パネリスト：眼科医・視能訓練士・社会福祉士・歩行訓練士・患者会員。
　医療、行政の垣根を越えた支援はすでに始まっています。どのようなものか？
　そして拡大するためには何が必要か？　さまざまな立場から語り合います。

１３時４０分　第２７回JRPS研究助成授与式
１３時５０分　受賞者による研究発表
●万代 道子（地方独立行政法人神戸市民病院機構　神戸市立神戸アイセンター病院）
　「再生医療による黄斑錐体細胞による視機能再建に関する研究」
●秋葉 龍太朗（千葉大学大学院医学研究院眼科学）
　「網膜中心窩における幹細胞由来網膜シート移植後の先端電子顕微鏡を用いた網膜
　　回路リモデリング解析」
●相馬 祥吾（京都府立医科大学）ライオンズ賞
　「網膜色素変性症モデルラットにおける明暗視・形態視機能の経日評価」

主催／公益社団法人　日本網膜色素変性症協会（ＪＲＰＳ）
主管／［お問合せ先］
神奈川県網膜色素変性症協会（ＪＲＰＳ神奈川）
メールアドレス：infokanagawa@rp-k.com　特設HP：https://www.rp-k.com/wrd2/
電話：080-6268-2994（常時留守番電話です。お名前とご用件を録音してください）
--
[問い合わせ先　山梨県内]
○ネットワーク環境のない人のために、山梨県内でパブリックビューインブを韮崎市民交流センター「ニコリ」で開設する予定です。希望する人は連絡ください。
ただし、コロナウイルスの蔓延状況によっては中止になる場合があります。

１）　甲斐ひとみネット
　　山梨大学医学部眼科学教室
　　電話　055-273-9657　　メール　kaihitomi-bounces@ml.yamanashi.ac.jp
２）　視覚障害者の横の会（網膜色素変性症患者会）
　　電話 0551-22-2754（穂阪）　メール　hsk_145_hiyoko@nifty.com
＞